
2009 年度事業報告

2009 年 4 月 1 日から要介護認定と介護報酬が見直されました。

要介護認定の見直しの理由として、基礎データの更新、事務負担の軽減、地域差の是正があげられており、「認定調査」「一次判定」「二次判定」全体にわたっての見直しとなりました。見直しの内容が明らかになるにつれ、各方面から認定結果がその人の実情と乖離したものになるのではと危惧の声があがり、「改善を求める意見書」提出や「新方式への移行の凍結を求める要望書」の提出などが相次ぎ、マスコミや国会においても大きくとりあげられました。

厚労省は 2009 年 4 月 13 日『第 1 回要介護認定の見直しに係る検証・検討会』を開催し、見直しの影響について検証を行なうこと、経過措置として、新たな要介護度認定で要介護度が軽くなっても、利用者の申請があれば現在の要介護度に基づいて検証期間中引き続き同じ介護サービスが受けられるようにすることとしました。厚労省が行なった 1,489 自治体の 4 月、5 月の「要介護認定状況の調査」の「更新申請者における一次判定結果の前回二次判定結果との比較」によると「前回より軽度に判定された」が 34.5%と 3 分の 1 を超えました。これらの結果をふまえ、厚労省は「調査項目に係る定義の修正を行なうこと」を 2009 年 7 月 28 日『第 3 回要介護認定の見直しに係る検証・検討会』に示し 10 月 1 日から修正を実施しました。

2010 年 1 月 15 日『第 4 回要介護認定見直し検証・検討会』は、要介護認定が軽度に判定される傾向は「調査項目に係る定義の修正」でおおむね是正されたと結論づけ、「今後は、特記事項活用の現場への周知」を求め「今後の要介護認定のあり方等について介護保険制度全般の見直しに向けた議論の方向性を待って、公開の場で議論を進めていくことが適当である。」としました。

介護報酬改定は「介護従事者の人材確保・処遇改善」「医療との連携や認知症ケアの充実」「効率的なサービスの提供や新たなサービスの検証」の 3 つを柱に実施されました。今回の介護報酬改定は、基本報酬部分の引き上げはほとんど行われず、事業者は加算を積み上げることで、収入増を求める形となっています。これにより、加算を取得するかどうかで差が生じ、処遇改善の程度にも差が出ます。事業者は加算に振り回されることになりました。当時の政府・与党は報酬の 3%引き上げにより 2 万円の賃金がアップするとしましたが、現状は過去 2 回の報酬引き下げによる赤字の補てんなどに消え、すべてが賃金アップに回るにはいたりませんでした。これらの状況をふまえ政府は、2009 年 10 月から 1 万 5 千円の賃上げを図る「介護職員処遇改善交付金」を開始しました。しかしこれは 2 年半の時限措置、そして介護職員のみが対象で看護職、事務職などは対象ではありません。介護保険の収入を基に算出されるため、少人数の利用者に職員を厚く配する小規模の事業者は不利にならざるをえません。介護職全体の経済的、社会的地位を引き上げるには、制度を大幅に見直す必要があります。

利用者の区分支給限度額はそのままであることから、事業所が加算を取ることで利用者が支給限度額を超えてしまい、自己負担が増えたり、サービスの時間や回数を減らしたりする事態も生じています。厚労省は 2010 年 1 月 25 日、訪問介護サービスの家事援助をめぐり「家族の同居を理由に利用を断られた」との苦情が相次いでいるとして、こうした機械的な判断をしないよう周知徹底を求める通知を都道府県あてに出しました。様々なひずみが顕著になっています。

1 介護サービスの質の向上のための研修

介護サービスの質の向上のためには様々な研修が必要になってきます。会員事業所の介護サービスの質の向上に資するための研修事業として、実務担当者会議において3回の拡大学習会をのべ63人の参加で開催しました。介護の現場で緊急に必要とされた新型インフルエンザについて、記録するにあたっての留意点、全国の行政が指摘した居宅介護支援事業所への法令違反の事例についてなどの学習となりました。

(1) 第1回拡大学習会

2009年7月16日(火)15:00~16:00 フォレスト仙台 5F 501 会議室

「感染症について—新型インフルエンザを中心に」

講師 残間由美子さん 坂総合病院感染制御室/感染管理認定看護師

参加者 20人

(2) 第2回拡大学習会

2009年9月1日(火)14:00~17:20 フォレスト仙台 5F 501 会議室

緊急研修会「相談記録を事業所の財産とするために～記録・情報共有・会議の改善～」

講師 小沼春日さん 藤女子大学生生活学科准教授

参加者 31人

(3) 第3回拡大学習会

2009年11月12日(木)16:00~17:00 フォレスト仙台 5F 501 会議室

「法令遵守のため事業所として準備すべきポイント」

講師 山崎彰子さん

生活協同組合あいコープみやぎケアグループ木もれび統括責任者

参加者 12人

2 介護ネットみやぎの会員団体のよりいっそうの連携の推進

会員団体の良質な介護サービス提供と健全な事業運営のために必要な情報を共有し連携を推進しながら、介護ネットみやぎの運営や活動について検討することを目的に、実務担当者会議を開催しました。2009年4月から要介護認定は新基準に変更されましたが、開始直前の見直し、そして導入後も激変緩和措置がとられるなどの異例の事態となり介護保険の利用者は実態より軽度に介護認定されるのではなどと不安を感じる事となりました。介護ネットみやぎは会員団体が連携し利用者の不安をすこしでも解消するためにケアマネジャーに「①介護認定の問題点について理解すること②認定調査時の、利用者・家族をサポートして情報を提供すること、認定調査に同席すること」を提案しました。同時に2008年度までの介護認定へのケアマネジャーの関わりや認定の現場の状況の実態についての「要介護認定ケアマネジャーアンケート」を実施しました。

また、2009年度はじめて「介護保険外サービス（インフォーマルサービスも含む）についての情報交流」をおこないました。今後ますますインフォーマルサービスが必要になります。この分野での連携の第一歩となりました。

実務担当者会議の開催

- (1) 第1回 2009年5月12日(火)13:35~15:45 フォレスト仙台 5F 501会議室
2009年度実務担当者会議事業計画(案)について検討 出席者13人
- (2) 第2回 2009年7月16日(木)14:30~17:30 フォレスト仙台 5F 501会議室
新要介護認定の情報交換 出席者19人
- (3) 第3回 2009年9月17日(木)15:00~17:00 フォレスト仙台 5F 501会議室
「要介護認定ケアマネジャーアンケート」まとめの報告 出席者15人
- (4) 第4回 2009年11月12日(木)15:00~17:00 フォレスト仙台 5F 501会議室
地域密着型評価機関の受諾に関する報告 出席者16人
- (5) 第5回 2010年2月18日(木)15:00~17:00 フォレスト仙台 5F 501会議室
介護保険外サービス(インフォーマルサービスも含む)についての情報交流

3 共通のマニュアルなどの作成

拡大学習会や実務担当者会議を通じて、各事業所の運営やマニュアル整備などの確立に寄与しました。

ケアマネジャーが主治医との連携を円滑にすすめるために、病院・診療所への情報提供用として「利用者情報提供記録」の雛形を作成しました。

4 介護サービスに関する苦情解決の第三者委員の共同委嘱

介護ネットみやぎの会員14団体・163事業所が苦情解決に社会性や客観性を確保し、適切な対応を推進するため、第三者委員を共同で委嘱しています。

2009年度は新たな委嘱年度となりました。5人の第三者委員に2年間の再委嘱をしました。

第三者委員 蘓武昌春 (民生児童委員)
高橋昭 (前なのはな会理事長現在相談員・経営コンサルタント)
水谷英夫 (弁護士)
矢野はしめ (宮城厚生協会長町病院ソーシャルワーカー・社会福祉士)
渡辺礼子 (ボラネット杜の丘代表・ボランティアアドバイザー・地域福祉推進員)

(1) 苦情解決の第三者委員研修・情報交流会開催

2009年7月16日(火)15:00~17:00 フォレスト仙台5F501会議室において出席者20人で開催しました。

研修は残間由美子さん(坂総合病院感染対策室長/感染管理認定看護師)を講師に「感染症についてー新型インフルエンザを中心に」についておこないました。つぎに共同委嘱している会員から1年間の苦情報告がありました。情報交流会では、現在事業所が抱えている事例をもとに、水谷弁護士より対応の仕方をご指導いただきました。

(2) 第三者委員苦情相談窓口の設置

第三者委員苦情受付相談の窓口を一本化し、ケアマネジャーが利用者相談の担当をし、利用者が相談をしやすい環境を作りました。相談窓口は通年（土日・祝祭日・年末・年始・お盆の期間をのぞく）9：30～17：00まで開設しました。相談実績は4件でした。

5 介護サービス「情報の公表」の訪問調査

調査員として44人（内新調査員3人）を委託し、2010年3月末までに介護サービス「情報の公表」訪問調査を県内630事業所行いました。

(1) 「情報の公表」調査事業推進委員会

情報の公表調査事業の適正な推進を確保するために情報の公表調査事業推進委員会を設置し情報の公表調査事業計画・事業報告に関すること・情報の公表調査事業調査事務に関することを検討しました。

伊藤博義委員の退任に伴い、豊田正利東北文化学園大学准教授を後任として委嘱しました。

「情報の公表」調査事業推進委員

入間田範子 NPO 法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事
関東澄子 認知症の人と家族の会宮城県支部代表
蘓武昌春 NPO 法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事・民生児童委員
佃 十尚 NPO 法人介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ元理事
豊田正利 東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科准教授

- ① 2009年度第1回 2009年11月5日(木) 16：00～17：30 介護ネットみやぎ事務所
- ② 2009年度第2回 2010年3月18日(木) 13：30～15：30 介護ネットみやぎ事務所
- ③ 2009年度第3回 2010年5月20日(木) 13：30～15：15 介護ネットみやぎ事務所

(2) 合同「情報の公表」調査事業推進委員会

7月9日(木)、フォレスト仙台501号室で、宮城県における情報の公表制度の推進に向けた、『合同「情報の公表」調査事業推進委員会』が初めて開催されました。介護ネットみやぎが事務局を担いました。

委員会には、各宮城県指定情報調査機関の事業推進委員及び宮城県、公表センター、4指定調査機関から計21人が出席し、「2008年度介護サービス情報の公表調査事業所アンケートまとめ」と「情報の公表」のホームページについて報告され、その後活発に意見交換がなされました。

(3) 「情報の公表」調査実務向上検討委員会

「情報の公表」についてより深い理解をしている『「情報の公表」調査員指導者』の資格を有する方5人を委員とし、実際に調査現場で起こりうる課題や調査員研修

の持ち方について検討しました。

- ① 第1回 2009年 5月 8日(金) 14:40~16:50 介護ネットみやぎ事務所
- ② 第2回 2009年 9月11日(金) 14:00~16:50 介護ネットみやぎ事務所
- ③ 第3回 2009年11月12日(木) 13:00~16:30 介護ネットみやぎ事務所
- ④ 第4回 2010年 1月15日(金) 14:00~16:30 介護ネットみやぎ事務所
- ⑤ 第5回 2010年 3月 4日(木) 13:30~16:30 介護ネットみやぎ事務所
- ⑥ 第6回 2010年 3月 7日(日) 9:30~18:00 グループホーム見学会

訪問先 NPO 法人) グループホームすみちゃんの家 (東松島市)
社会福祉法人)グループホームふかふか・はうす (大崎市)

(4) 介護サービス「情報の公表」苦情解決の第三者委員会

介護サービス「情報の公表」の苦情解決に社会性や客観性を確保し、適切な対応を推進するため、第三者委員を3人委嘱しています。2009年度は新たな委嘱年度となりました。3人の第三者委員に2年間の再委嘱しました。

第三者委員 関谷 登 (東北学院大学副学長)
井野場晴子 (弁護士)
武田美津子 (民生委員・みやぎ生協名誉理事)

① 「情報の公表」の苦情解決の第三者委員研修・情報交流会開催

2009年12月2日(月)10:00~11:40 介護ネットみやぎ事務所において『2008年度介護サービス情報の公表事業所アンケートのまとめの報告』と『介護ネットみやぎの「情報の公表」の苦情とその対応の報告』をおこないました。

② 「情報の公表」第三者委員苦情相談窓口開設

苦情相談窓口は介護ネットみやぎ事務局におきました。

苦情相談担当者は第三者委員からの助言や立会いが必要な場合や、報告を必要としている苦情について適切に対応しました。今年度は第三者委員に報告が必要な苦情が1件あり、苦情内容対応について報告しました。相談窓口は通年(土日・祝祭日・年末・年始・お盆の期間をのぞく9:30~17:00まで)開設しました。

(5) 調査員指導者養成研修(平成21年度調査対象サービス)に1人を推薦し、課程を修了しました。

(6) 公表センターと4調査機関の打合せ会議

公表センターと4調査機関の打合せ会議が宮城福祉オンブズネット「エール」会議室において調査の平準化をはかり更に調査の質を向上していくために、また、国や県の「情報の公表」に関する情報を共有していくために、毎月開催され出席しました。

(7) 「介護サービス情報の公表」事業所アンケート

調査した事業所に対し、宮城県・公表センター・4調査機関が合同で作成したアンケートをお願いしています。調査機関に寄せられた回答は月度ごとにまとめ公表センターに報告し、調査員研修にもいかしています。2008年度「情報の公表」事業所アンケート

をまとめ、2009年8月10日(月)宮城県保健福祉部へ提出し、これまでの反省と今後の課題について懇談をしました。

(8)「情報の公表」調査員研修会の開催

調査員の資質向上と、調査機関間の調査の平準化をめざし、7回のべ215人の出席で開催しました。各研修会は、内部・外部の講師により行なわれ、調査員の資質向上に資する研修となりました。

	テーマ	講師名	日時	場所	参加人数
1	介護ネットみやぎ研修会 ・調査員としての心得 ・平成21年度追加調査サービスの概要 ・調査項目の変更点	入間田範子(介護ネットみやぎ事務局長)	8/10 (月) 10:30 ～ 12:00	宮城県庁舎 2階講堂	40人
	第1回調査員全体研修(4調査機関合同) ・平成21年度法改正に伴う変更点 ・21年度調査のポイントについて ・認知症対応型共同生活介護の現状	県・公表センター 中鉢多美子(県社協) 伊藤寿美子(宅老連)	13:35 ～		
2	「情報の公表」調査機関用保険の内容	内田新一郎さん (東京海上日動火災 保険株式会社)	9/25 (金) 10:30 ～ 15:40	フォレスト 仙台5階 501会議室	39人
	介護保険制度をめぐる現状 ・インフルエンザ対応マニュアル ・調査項目判断基準 ・最近の調査から	入間田範子 事務局			
3	第1回新調査員研修 ・訪問介護・通所介護・居宅介護支援 の指定基準と運営基準 ・新調査員の疑問点	調査実務向上検討委員	10/20 (火) 10:30 ～ 15:30	フォレスト 仙台3階 事務所	8人
4	・2008年度事業所アンケート集計報告 ・2009年度事業所アンケート中間報告 ・宮城県からの伝達	入間田範子	11/27 (金) 10:30 ～ 16:30	フォレスト 仙台5階 501会議室	36人
	学習会 「介護サービス情報の公表における訪問 看護サービスについて」	内田裕子さん (若林訪問看護ステーション)			

5	学習会 「認知症を学び地域で支えよう」	山崎彰子さん (ケアグループ木も れび統括責任者)	‘10 1/29 (金)	フォレスト 仙台5階 501会議室	35人
	調査員交流会	調査実務向上検討委 員	13:30 ～ 15:20		
6	外部研修 小規模多機能型居宅介護ってなんだろ う in 仙台・宮城	宮島渡さん (全国小規模多機能 型居宅介護事業者連 絡会) 菊池芳久さん (厚生労働省老健局 振興課)	2/11 (木) 10:00 ～ 16:30	仙台市市民 活動サポ ートセンター	31人
7	調査について	入間田範子	3/24 (水)	フォレスト 仙台5階 501会議室	26人
	学習会 「特別用語老人ホームラポール藤沢に学 び、そして情報の公表をめざすべきこと を考える」	小川泰子さん (いきいき福祉会ラ ポール藤沢専務理 事)	10:30～ 15:30		

6. 福祉サービスの第三者評価の調査・研究

宮城県は2006年度から「宮城県福祉サービス第三者評価調査者養成研修」を行い、2007年度から第三者評価機関の公募を開始しています。福祉サービスの第三者評価に関する社会的システムの実現をめざすための調査研究を行なう「介護ネットみやぎ評価事業検討委員会」のもと、保育分野第三者評価モデル事業作業部会が推進の中心になり、宮城県が作成した福祉サービス第三者評価項目（保育分野）を基に評価モデル事業を実施しました。評価モデル事業を実施するにあたり独自に保護者アンケートを作成実施しました。野呂アイ尚学院大学名誉教授に学識者枠として参加していただき様々な助言をいただきました。

評価モデル事業の結果を基に、「介護ネットみやぎ評価事業検討委員会」は介護ネットみやぎが福祉サービス第三者評価事業の方向について理事会に対し報告しました。

- (1) 介護ネットみやぎ評価事業検討委員会を開催し介護ネットみやぎとして福祉サービス第三者評価事業をどのように位置づけていくか検討しました。検討の結果は以下の3点です。

次年度の「福祉サービス第三者評価事業」の取組みについて

- ・宮城県福祉サービス第三者評価機関の認証取得を進めます。
- ・「第三者評価モデル事業」の取組みを継続し、第三者評価事業のノウハウの蓄積を図ります。
- ・介護ネットみやぎ「福祉サービス第三者評価事業検討委員会」は、引き続き事業検討委

員会として継続し、福祉サービス第三者評価事業の研究と事業的検討を進めます。

- ①第6回 2009年 5月11日(月) 15:30~17:00 介護ネットみやぎ事務所
- ②第7回 2009年 9月30日(水) 13:30~15:30 介護ネットみやぎ事務所
- ③第8回 2010年 2月22日(月) 13:30~15:30 介護ネットみやぎ事務所

(2)福祉分野第三者評価モデル事業に向けた学習会を開催し評価モデル事業の準備をしました。

- ①学習企画：「宮城県福祉サービス第三者評価(保育所版)」保育基準の解説
2009年 6月17日(水) 14:00~15:30

フォレスト501会議室、講師：宮城県保健社会福祉部

- ②学習企画：「保育所保育指針(平成20年4月告示)」の解説

2009年 8月 5日(月) 13:30~15:00 介護ネットみやぎ事務所 講師 野呂アイさん

(3)評価モデル事業を実施しました。

- ①目的を以下の3点としました。

- ・「福祉サービス第三者評価」が事業者の質の向上と利用者家族の満足に役立つ仕組みなのかを検証します。
- ・宮城県福祉サービス(保育分野)第三者評価基準を検証します。
- ・介護ネットみやぎの基本理念にもとづく新規事業としての展望を見通します。

- ②評価モデル事業実施施設 社会福祉法人宮城厚生福祉会「柳生もりの子保育園」

- ③モデル事業推進体制

- ・保育分野第三者評価モデル事業作業部会メンバー(敬称略・順不同)

野呂アイ 学識者：尚絅学院大学名誉教授・臨床発達心理士

齋藤境子 介護ネットみやぎ理事・第三者評価検討委員会員

佃 十尚 介護ネットみやぎ前理事

寺岡良一 介護ネットみやぎ事務局

(オブザーバー) 入間田範子 介護ネットみやぎ事務局長・理事

- ・評価調査者(敬称略・順不同)

野呂アイ 学識者：尚絅学院大学名誉教授・臨床発達心理士

齋藤境子 07年度宮城県福祉サービス第三者評価者養成研修修了者・介護ネットみやぎ理事

蘓武昌春 08年度宮城県福祉サービス第三者評価者養成研修修了者・介護ネットみやぎ理事

佃 十尚 08年度宮城県福祉サービス第三者評価者養成研修修了者・介護ネットみやぎ前理事

寺岡良一 07年度宮城県福祉サービス第三者評価者養成研修修了者・介護ネットみやぎ事務局

(オブザーバー) 入間田範子 介護ネットみやぎ事務局長・理事

- ④保育分野第三者評価モデル事業作業部会を4回開催し保護者アンケートの作成、評価基準について検討しました。

⑤第三者評価調査者による柳生もりの子保育園への訪問調査 12月21日(月)に行ないました。

⑥第三者モデル評価調査者打合せ会議を5回開催し評価報告書を作成しました。

(4) 宮城県福祉サービス第三者評価調査員を2人養成しました。

7 成年後見研究チームの調査研究事業

成年後見制度の活用に関する情報と、まもり一歩の活用に関する情報の提供を行うとともに、市民参加の枠組みづくりや「市民後見人」について研究しました。

① 第3回成年後見セミナーに参加しました。

2009年10月25日(土) 13:00~16:00 仙台福祉プラザ

学習会「仙台市における成年後見制度の状況」

講師 後藤伸さん 仙台市成年後見総合センター副所長

② 研究チームメンバー1人が、市民後見人の養成講座を受講しています。

8 介護保険制度をより良いものにするための活動

(1) 介護保険制度政策立案チーム

2009年の介護報酬改定を踏まえ、2012年に介護保険法の本格的な制度改正が予想されます。介護保険制度をめぐる今日的情勢から、国や自治体に対し、利用者・事業者の声を反映させる要望について検討するため、介護保険制度政策立案チームを立ち上げ介護保険制度をよりよいものにするための活動などについて検討しました。とくに新要介護認定制度の改善のための活動を進めるために、ケアマネジャー交流会、ケアマネジャーアンケート調査などを企画しました。これらをもとに、厚生労働大臣にたいする『「要介護認定等の見直し」の修正等に対する要望書』を作成提出しました。

①第1回 2009年 5月11日(月) 13:30~15:30 介護ネットみやぎ事務所

②第2回 2009年 8月31日(月) 13:30~15:30 介護ネットみやぎ事務所

③第3回 2010年 3月 4日(木) 10:30~12:30 介護ネットみやぎ事務所

(2) 「私達がめざす介護保険とするための宮城県緊急会議」まとめの会開催

2009年6月11日(木) フォレスト仙台 5階501会議室において24人の参加者で開催しました。2009年4月1日からの介護報酬・介護認定などの改定について各団体の評価や運動、新たに起きてきた介護現場の問題点などを話し合いました。今後も名称を変えて力をあわせていきます。

呼びかけ人

大川 昭雄 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会 代表理事
市民福祉団体全国協議会宮城連絡会 代表

高橋 治 仙台市老人福祉施設協議会 会長

樋口 晟子 介護サービス非営利団体ネットワークみやぎ理事長

(3) 2009年度総会記念講演「安心して働き、利用し続けられる介護保険にするために」開催

2009年6月11日(木) 14:45~16:00 フォレスト仙台2 第5・6会議室

講師 高橋 治さん 社会福祉法人仙台ビーナス会理事長

(4) 学習会「三好春樹連続講座」-よりよき介護をめざして- 開催

①2009年7月26日(日) 10:30~15:30 エルパーク仙台セミナーホール1・2

参加者175人

新しい介護技術入門~物理学から動作の生理学へ老人イキイキ介護者ラクラク~

②2009年8月29日(日) 10:30~15:30 エルパーク仙台セミナーホール1・2

参加者179人

新しい認知症ケア~医学から人間学へ~

講師:三好春樹さん 生活とりハビリ研究所代表/理学療法士

主催:生活協同組合あいコープみやぎ NPO法人介護ネットワークみやぎ

後援:10団体

(5) ケアマネジャー交流会開催

新要介護認定の問題点を学び、介護認定現場で起きている情報の交流を図るとともに、介護認定におけるケアマネジャーの役割を確認しました。

2009年6月15日(月) 15:30~17:30

フォレスト仙台5階501会議室

学習会「新要介護認定の問題点を学び、真に、適切な介護サービスを受けることが出来る介護認定のあり方を考える」

講師:花木かよ子さん 宮城県民医連長町病院附属クリニック事務長 参加者34人

(6) 介護認定対応についてのケアマネジャーアンケート調査

2009年4月からの新要介護認定は、開始直前の見直し、開始直後の経過措置など異例の事態となりました。介護認定へのケアマネジャーのかかわりや、認定の現場の状況を知り、を国に働きかけるため、介護ネットみやぎ会員団体ケアマネジャー全員を対象としてアンケートを行いました。

調査期間 6月27日~7月10日 対象 13団体 130人 96人回答

(7) 要望書、意見書の提出と懇談会

①『「要介護認定等の見直し」の修正等に対する要望書』提出 2009年9月10日

2009年4月に変更された「要介護認定」と、急遽設けられた「経過措置」に対する猛省と、時期政権に要望の真意を正しく引き継ぐことを求め、舛添要一厚生労働大臣宛てに提出しました。

②『「要介護認定等の見直し」の修正等に対する要望書』提出 2009年11月11日

新政権の厚生労働省長妻昭大臣宛に提出するとともに、宮城県選出国會議員宛てに送付しました。同時に、宮城県記者クラブにて要望書の提出経緯と要望内容説明の記者会見を行いました。

③会員団体や情報の公表の調査員に、厚生労働省労健局総務課の「介護保険制度に関する国民のみなさまからのご意見募集」アンケート提出を促す働きかけを行ないました。

9 情報の発信

(1) 「情報紙」は年6回(奇数月)19号~24号を発行しました。発行部数は550部で21会員

団体、理事・監事、各委員会の委員、賛助会員、情報の公表調査員、情報の公表調査機関、県・市の介護保険課に送付しています。

- (1) ホームページを作成しています。介護ネットみやぎ発行の情報誌や速報をUPし活動内容や行政の情報などを随時お知らせしましたまた、リンク集を設け介護関連の情報を得やすくしました。
- (2) 介護ネットみやぎ速報をメール及びFAXで、介護ネットみやぎ会員、理事会メンバー及び関係団体に向け19号から24号まで発信しました。

10 理事会

理事会を5回、持ち回り理事会を2回開催しました。

- ① 2009年度総会第1回 2009年6月11日(木) 11:00~12:00
フォレスト仙台3階介護ネット事務所
- ② 2009年度総会持ち回り理事会 2009年8月7日(金)
- ③ 2009年度総会持ち回り理事会 2009年9月8日(火)
- ④ 2009年度総会第2回 2009年10月8日(木) 13:30~15:40
フォレスト仙台3階介護ネット事務所
- ⑤ 2009年度総会第3回 2009年12月10日(木) 13:30~15:30
フォレスト仙台501会議室
- ⑥ 2009年度総会第4回 2010年3月11日(木) 13:30~15:20
フォレスト仙台501会議室
- ⑦ 2009年度総会第5回 2010年5月13日(木) 13:30~15:30
フォレスト仙台501会議室

11 監事会

監事会を開催しました。

2009年5月19日(火) 15:00~16:00 介護ネットみやぎ事務所

12 事務局体制

- (1) 事務局長・事務局次長・事務局員3人・情報担当者1人・アルバイト1人で運営しました。
- (2) 事務局会議を週1回開催しました。
- (3) 事務局スタッフの資質の向上のために外部研修に参加しました。
 - ① 「2009年度利用者アンケートについて」
こーぷ福社会主催 ウイズ 2009年4月15日(木)
 - ② 崩壊の危機にある介護保険制度の再生を」
新婦人の会太白支部社会保障部主催 長町南コミュニティセンター 2009年4月23日(木)
 - ③ 東大市民後見養成講座観察研修説明会 2009年5月31日

(日)

東京大学主催 フォレスト仙台5F501会議室

- ④「地域で安心して暮らし続けるために」－助け合いの会の果たしてきた役割と期待されるもの
 2009年6月10日(水)
 みやぎ生協助け合いの会主催 仙台市シルバーセンター
- ⑤「泣いて笑って今どき介護事情」
 2009年10月7日(水)
 みやぎ生協共済センター主催 アエル5F大ホール
- ⑥外部評価研修会「外部評価の改正ポイントと介護サービス情報の公表導入を踏まえて」
 2009年10月23日(金)
 NPO 法人宮城県認知症グループホーム協議会主催 仙台市戦災復興記念館
- ⑦ 地域密着型サービス外部評価フォローアップ研修
 2009年11月5日(木)
 介護の社会化を進める一万人市民委員会主催 仙台市中央市民センター
- ⑧ 宅老所を全国に広める会全国研修会 in 仙台
 2009年12月13日(日)
 宅老所を全国に広める会主催 仙台市青年文化センター
- ⑨ 介護事業現場管理者の管理能力強化
 およびキャリアパス制度イメージアップに関する報告会
 2010年3月10日(水)
 日本生協連福祉事業部主催 メルパルク SENDAI